第14期

事 業 計 画 ・ 収 支 予 算

令和７年４月１日から
令和８年３月31日まで

一般財団法人　あすなろ会

事　業　計　画

令和７年４月１日から
令和８年３月31日まで

Ⅰ普通会員事業

種　　目		回数	摘　　要
研修会	茶道教室 （本部・新橋）	42	毎週木曜日、（6：00P.M.~8：00P.M.） 表千家茶道のけいこ 指導　表千家教授　白 鳥 宗 清 先生
	書道･ペン習字教室 （本部・新橋） （会館・押上）	42	会館・第一、第三水曜日、（6：00P.M.~8：00P.M.） 本部・第二、第四木曜日、（6：00P.M.~8：00P.M） 書道・ペン習字の練習 指導　日本ペン習字研究会師範　大 野 秋 陽 先生
	英会話教室 （本部・新橋）	42	毎週木曜日、（6：00P.M.~8：00P.M.） 英会話のレッスン 指導　在日外国人講師
	新　教　室	1	一日教室等可能なものから順次実施する
つ　ど　い		1 1	８月　創立63周年「あすなろ祭」 １月　第59回「祝 新年若者のつどい」
奨学金支給制度			制度変更のため募集を中止している。
カウンセリング			会員のよき相談相手となり、出来る範囲にて援助と助言を行う。

Ⅱ賛助会員事業

種　　目	回数	摘　　要
研　究　会	1	5月13日　第20回「合同時局講演会」 （京王プラザホテル）
	1	11月12日～13日　第91回「中小企業経営環境研究会」 （熱海後楽園ホテル）
	2	中小企業の後継者育成とその支援事業 大信ひまわりの会、八王子しん研青年部セミナーへの協賛

Ⅲその他の事業

種　目	回数	摘　　要
会　報	1	6月に発行
図　書　貸　出		本部事業所においては常時開放して貸出
協　力　事　業		・厚生労働省が提唱する「若者支援」事業への協力 ・(一社) 日本勤労青少年団体協議会主催による「働くってなんだろう」エッセイ及び標語の募集 ・大信各店舗における啓蒙と各種活動の支援

収　支　予　算

令和７年４月１日から
令和８年３月31日まで

(1) 収入の部

（単位：千円）

科目 大科目	科目 中科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
財産収入	基本財産受取利息	1	1	0	
会費収入	賛助会費	11,000	10,000	1,000	
寄付収入	特別寄付	200	200	0	
事業収入	茶道教室	180	160	20	
	書道・ペン習字教室	140	90	50	
	英会話教室	60	90	△ 30	
	新教室	10	10	0	
	つどい	0	0	0	
	研究会	9,000	8,000	1,000	
	スポーツ・レクリエーション	0	0	0	
	図書費	0	0	0	
	会誌・会報	0	0	0	
	小計	9,390	8,350	1,040	
雑収入	運用財産受取利息	10	2	8	
	雑収入	145	150	△ 5	(注)1
	小計	155	152	3	
当期収入合計	(A)	20,746	18,703	2,043	
前期繰越収支差額		7,859	8,856	△ 997	
収入合計	(B)	28,605	27,559	1,046	

(注)1. 店舗にある「活動費」残高全額を回収し雑収入に計上します。

(2) 支出の部

（単位：千円）

科目 大科目	科目 中科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
事業費	茶道教室	600	600	0	
	書道・ペン習字教室	530	580	△ 50	
	英会話教室	630	630	0	
	新教室	150	150	0	
	つどい	3,300	3,300	0	
	研究会	11,000	11,000	0	
	スポーツ・レクリエーション	0	0	0	
	図書費	20	30	△ 10	
	会誌・会報	360	350	10	
	活動費	1,041	1,590	△ 549	
	什器備品費	100	20	80	
	事業通信費	250	150	100	
	事業諸雑費	10	20	△ 10	
	小計	**17,991**	**18,420**	**△ 429**	
管理費	会議費	190	180	10	
	福利厚生費	20	30	△ 10	
	印刷費	0	50	△ 50	
	事務通信費	100	140	△ 40	
	負担金	0	101	△ 101	
	交通費	380	220	160	
	光熱水費	120	120	0	
	消耗品費	25	20	5	
	消耗什器備品費	5	20	△ 15	
	諸謝金	280	280	0	
	事務用品費	15	10	5	
	新聞図書費	66	65	1	
	人件費	672	680	△ 8	(注) 1
	什器償却費	0	0	0	
	賛助会員表彰費	150	150	0	(注) 2
	管理諸雑費	100	80	20	
	租税公課	120	120	0	
	小計	**2,243**	**2,266**	**△ 23**	
当期支出合計	**(C)**	**20,234**	**20,686**	**△ 452**	
当期収支差額	**(A) − (C)**	**512**	**△1,983**	**2,495**	
次期繰越収支差額	**(B) − (C)**	**8,371**	**6,873**	**1,498**	

(注)1. 大東京信用組合ご負担の役職員給与について、その一部を当会が負担することとし、人件費として計上しました。

2. 今年度も通算20年に亘り、賛助会費を納入された会員に対し感謝状と記念品を贈呈する費用を計上いたしました。

＊本会では借入する予定はなく、借入限度額も設けておりません。

あすなろ会の目的

一般財団法人あすなろ会は
働く青少年の育成・福祉向上への支援
ならびに中小企業の振興に
寄与することを目的とする